

# 2つの地震対応と仙台東部道路・南部道路の全線開通

仙台東部道路・仙台南部道路全線開通や仙台空港アクセス鉄道開業、仙台港背後地センター地区ショッピングモールのオープン、各地のニュータウンの完成など県民生活に身近な事業が進む中、宮城県北部連続地震、岩手・宮城内陸地震が発生し、震災からの復旧に対応しました。

[平成②] 平成10年—22年  
(1998) (2010)

昭和			平成			令和
①	②	③	①	②	③	

国道284号 新月バイパス開通 平成13年(2001)  
気仙沼市と岩手県一関市を結ぶ幹線道路で、このバイパス事業は気仙沼市新月地区の幅員狭小、線形不良の解消を目的とし、1993年に事業着手し、2001年に開通しました。



惣の関ダム完成 平成14年(2002)

都市化の進む砂押川流域の治水安全度の向上と水道用水確保などを目的とした重力式コンクリートダムです。



仙台空港アクセス鉄道開業 平成19年(2007)

仙台都心と仙台空港間に、定時性、高速性、大量輸送性に優れた軌道系アクセス手段を整備することにより、仙台空港の利便性を一層向上させることを目的として建設されました。



岩手・宮城内陸地震 平成20年(2008)

平成20年6月14日岩手県内陸南部を震源に、最大震度6強を観測する地震が発生し、栗駒山周辺の土砂災害を中心に、死者行方不明者18人、住家被害約1,900棟、被害総額約1,095億円という甚大な被害をもたらしました。



宮城県北部連続地震 平成15年(2003)

平成15年7月26日に震度6弱、6強、6弱と、1日に連続して3回の強い地震が発生し、県北部を中心に全壊住家約1,000棟の大きな被害をもたらしました。



仙台港背後地センター地区 ショッピングモールオープン 平成21年(2009)

東北地方の国際貿易交流拠点、仙台都市圏の物流・工業生産拠点として、宮城県と仙台市が仙台港背後地の都市基盤整備を共同で行い、魅力あるまちづくりを進めました。



角田山下線 角田山元トンネル開通 平成22年(2010)

角田市と山元町を結ぶ一般県道角田山下線に開通した、角田丘陵を貫通する全長961mのトンネルです。角田・白石方面から常磐自動車道山元ICのアクセス道路として位置づけられています